

GPC-1200

サブプロセッサモジュール用 Windows ドライバソフトウェア



概要

GPC-1200 は、メインプロセッサ上の Windows アプリケーションから、弊社サブプロセッサモジュール製品を制御するためのソフトウェアです。
 弊社サブプロセッサモジュール製品を Windows 上のアプリケーションから DLL をダイナミックリンクし、API をコールすることにより制御します。
 サブプロセッサモジュールを制御するためのサンプルプログラムの他、サブプロセッサモジュールで使用できるサンプルプログラムも付属しています。

特長

- メッセージポートでサブプロセッサモジュールと通信ができます。
- メッセージカウント状態(エンプティ/フル)により割り込みイベントを通知することができます。
- サブプロセッサモジュールとの共用メモリ空間をマッピングすることができ、アプリケーションから、サブプロセッサモジュールに搭載されているメモリに対して読み込み・書き込みができます。
- サブプロセッサモジュールに対して、起動、シャットダウン、強制電源 OFF、リセットの電源制御ができます。
- サブプロセッサモジュールの状態(スタンバイ状態・起動状態)を確認することができます。
- サブプロセッサモジュールとメインプロセッサ間の DMA 転送することができます。
- 割り込みイベント、メッセージポートリード制御、メッセージポートライト制御、メモリアクセス、サブプロセッサモジュールの電源制御、DMA 転送のサンプルプログラムを添付しています。
- GPC-1200 にはサブプロセッサモジュールのサンプルプログラムを添付しています。WDT、温度監視、電源電圧監視、割り込みイベント通知、メモリアクセス制御、アップメッセージ制御、ダウンメッセージ制御、DMA 転送のサンプルプログラムが付属しています。

対応 OS

Windows 7
 Windows Server 2008
 Windows Vista
 Windows Embedded Standard 2009
 Windows XP
 Windows XP Embedded
 Windows Server 2003

対応言語

Microsoft Visual C++ 6.0, .NET 2002, .NET 2003, 2005, 2008, 2010
 Microsoft Visual C# .NET 2002, .NET 2003, 2005, 2008, 2010
 Microsoft Visual Basic 6.0, .NET 2002, .NET 2003, 2005, 2008, 2010

注意事項

—